

神奈川県立がんセンター 放射線診断・IVR科 レジデント研修評価表 (年次)				
レジデント	期 (氏名)	2022.3 ver.2		
指導医		レジデントは太 枠内を記入		
研修期間	年 月 日～ 年 月 日			
がん治療における放射線診断とInterventionに関わる下記の研修目標について自己評価をするとともに指導医に評価を受けること				
		A:修得した B:ほぼ修得した C:目標に達しない		
	自己評価	実施または術者	見学または助手	指導医評価
1. 以下の各領域の臓器の画像解剖を理解している。				
1) 脳	A・B・C	/		A・B・C
2) 頭頸部	A・B・C		A・B・C	
3) 食道	A・B・C		A・B・C	
4) 乳腺	A・B・C		A・B・C	
5) 呼吸器	A・B・C		A・B・C	
6) 消化管	A・B・C		A・B・C	
7) 肝・胆・膵	A・B・C		A・B・C	
8) 泌尿器	A・B・C		A・B・C	
9) 婦人科領域	A・B・C		A・B・C	
10) 骨軟部領域	A・B・C		A・B・C	
2. 以下の各臓器の疾患を理解し、画像診断法の適応を判断できる。				
1) 脳	A・B・C	/		A・B・C
2) 頭頸部	A・B・C		A・B・C	
3) 食道	A・B・C		A・B・C	
4) 乳腺	A・B・C		A・B・C	
5) 呼吸器	A・B・C		A・B・C	
6) 消化管	A・B・C		A・B・C	
7) 肝・胆・膵	A・B・C		A・B・C	
8) 泌尿器	A・B・C		A・B・C	
9) 婦人科領域	A・B・C		A・B・C	
10) 骨軟部領域	A・B・C		A・B・C	
3. 以下の各臓器について適切な画像診断を行い、次の診療stepを提言できる。				
1) 脳	A・B・C	件	件	A・B・C
2) 頭頸部	A・B・C	件	件	A・B・C
3) 食道	A・B・C	件	件	A・B・C
4) 乳腺	A・B・C	件	件	A・B・C
5) 呼吸器	A・B・C	件	件	A・B・C
6) 消化管	A・B・C	件	件	A・B・C
7) 肝・胆・膵	A・B・C	件	件	A・B・C
8) 泌尿器	A・B・C	件	件	A・B・C
9) 婦人科領域	A・B・C	件	件	A・B・C
10) 骨軟部領域	A・B・C	件	件	A・B・C
4. 以下の画像診断・IVRに必要な知識を有し、実行できる。				
1) 造影剤の選択、適応の判断	A・B・C	件	件	A・B・C
2) 副作用が生じたときの対処	A・B・C	件	件	A・B・C
3) カテーテルを用いた動脈造影・IVRの基本手技	A・B・C	件	件	A・B・C
4) カテーテルを用いた静脈造影・IVRの基本手技	A・B・C	件	件	A・B・C
5) 画像ガイド下生検の基本手技	A・B・C	件	件	A・B・C
6) IVR施行の際のインフォームドコンセ	A・B・C	件	件	A・B・C
7) I V R治療による有害事象に対する適切な机置	A・B・C	件	件	A・B・C
5. 学会活動を行っている。				
		演者または著者	共同演者 または共著者	
1) 院内カンファレンスに出席している	A・B・C	件	件	A・B・C
2) 院外カンファレンスに出席している	A・B・C	件	件	A・B・C
3) 学会発表	A・B・C	件	件	A・B・C
4) 論文発表	A・B・C	件	件	A・B・C
自由記載欄：(欄不足の場合は裏面へ)				
評価： 年 月 日		判定： 優 ・ 良 ・ 可 ・ 不可		
指導医記載欄：				

提出方法: レジデントは研修期間終了時に自己評価を記入して指導医に提出し、指導医は指導医評価を記入後1ヵ月以内に総務企画課に提出すること。